



**NPO**  
**花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会**

Therapeutic Promotion Society for Pollinosis and Rhinosinusitis

**VOL.5**

[www.hanamizu.jp](http://www.hanamizu.jp)

## 巻頭のご挨拶

### NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 「パンフレット(第5号)」の刊行によせて

現在国民の3割以上が、スギ花粉を抗原とした季節性やダニ抗原を原因とした通年性のアレルギー性鼻炎に悩んでいるといわれています。最近では、このアレルギー性鼻炎と関連した副鼻腔炎や気管支炎なども含めた好酸球性気道炎症も問題となっている状況です。スギ花粉症を含めたアレルギー性鼻炎による国民的なQOLの低下も含めた健康被害とそれに基づく労働生産性の低下は、克服すべき重要な社会的問題の1つと考えられています。

花粉症、アレルギー性鼻炎の克服のための調査研究は、医学部、大学病院としてなすべきことは多々ありますが、一方で地域の開業医等の医療機関とのネットワークを構築して取り組むことが患者さんたちによるケアや医療による治療には不可欠だと考えています。

医学部の研究室、大学病院の耳鼻咽喉科と地域の耳鼻咽喉科医療機関とネットワークを形成し密接な連携を基本に、患者さんたちに正しい花粉症・鼻副鼻腔炎の知識や的確な治療を推進する特定非営利活動法人を平成25年11月に設立し、4年が経ちました。

NPOの活動の柱として「花粉症市民講座」を設け、4回目になります。正しい花粉症のケア、治療に関する知識を少しでも国民の皆様方に提供できるようにこれからも努力していく所存でありますので、NPOの活動にご参加、ご賛同頂ければ幸いです。



ホームページ <http://hanamizu.jp>

平成30年 1月10日

特定非営利活動法人  
花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会  
理事長 大久保公裕



# アレルギー週間「第5回 花粉症市民講座」 花粉症の治療、ここに注目、ここが重要!!

【主催】特定非営利活動法人(NPO)花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会

【共催】公益財団法人 日本アレルギー協会関東支部

花粉症の季節が近づいてきました。症状がひどくなると日常生活にも影響を与えかねません。

正しい知識をもって対処するために、今年の花粉予測や食事による予防策など、役立つ情報を専門家を交えて紹介します。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

**日時** 平成30年2月25日(日) 13:00~14:45(12:30受付開始)

**場所** 都市センターホテル 6階606号  
東京都千代田区平河町2-4-1  
TEL:03-3265-8211

## アクセス

- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」  
4番・5番出口より徒歩4分、9b番出口より徒歩3分  
※「永田町駅」からのアクセスは、5番出口方面の先にある9b出口が便利です。  
ホテル前のプリンス通りに出られます。
- 東京メトロ 有楽町線「麹町駅」  
半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- 東京メトロ 丸の内線・銀座線、「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- JR中央線「四谷駅」麹町出口より徒歩14分



**参加費** 無料(ただし事前の登録(申し込み)が必要です。)

**定員** 150名(※定員になり次第、募集を終了します。)

## プログラム

12:30 受付開始

13:00 開講 開講の挨拶

司会：宮本昭正(公益財団法人 日本アレルギー協会 理事長)

13:10 講演1 講演内容：「子供や高齢者の鼻水とその対策」

講師：松根彰志(日本医科大学 耳鼻咽喉科学 教授)

13:40 質問コーナー(申し込み時にお寄せいただいたものを優先してお答えします。)

13:50 講演2 講演内容：「舌下免疫療法は、花粉症・アレルギー性鼻炎に有効です!!」

講師：大久保公裕(日本医科大学大学院 頭頸部・感覚器科学 教授)

14:30 質問コーナー(申し込み時にお寄せいただいたものを優先してお答えします。)

14:45 終了

## お申し込み方法

- ホームページでお申し込みください  
<http://hanamizu.jp/> にアクセスいただき、専用フォームにご入力ください。  
整理番号等を書いた受講証を返信先メールアドレスにお送りします。

## お申し込み期間

平成30年1月29日(月)~2月19日(月) ※電話・FAXでのお申し込み等は受け付けていません。

※アンケートをご記入いただき受付デスクへのご提出にご協力ください。筆記用具をご持参ください。



## 【司会】宮本 昭正

日本臨床アレルギー研究所所長、新橋アレルギー・リウマチクリニック院長、  
国際アレルギー・臨床免疫学会の会長、日本アレルギー学会の理事長などを歴任。  
喘息、内科、アレルギー、呼吸疾患、リウマチ・膠原病が専門分野で多方面で活躍している。

## 講演内容(抄録)

### 講演1：子供や高齢者の鼻水とその対策

講師：NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 事務局長 松根彰志

子供や高齢者のしつこい鼻水はよく見られる困った症状です。もちろん花粉症などアレルギー性鼻炎の症状として出ることはよく見られますが、それ以外に注意したいこともあります。子供では、幼児から学童期までは花粉症よりもダニによるアレルギー性鼻炎の影響が強いことがよくあります。

また、アトピー性皮膚炎、喘息などの他のアレルギー疾患との合併や順次現れては軽減するといった現象、症状が見られることがあります。また、小児のアレルギー性鼻炎では、しばしば水鼻ではなくどろどろの膿汁に変化することが成人より多く見られ「ちくのう」(副鼻腔炎)と紛らわしいことがあります。一方、高齢者ではアレルギー性ではなく加齢に伴う鼻の粘膜の萎縮による「老人性鼻漏」の状態になってしまっていることがあります。これは、アレルギーのお薬をいくら続けても効果がありません。以上のような、世代特有の鼻水についてお役にたつようわかりやすくお話ししたいと思います。



松根彰志 / NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 事務局長

1984年 鹿児島大学医学部医学科 卒業、1988年 鹿児島大学大学院 修了

1988年～1990年 米国ピッツバーグ大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 留学

2000年 鹿児島大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 助教授

日本医科大学医学部 耳鼻咽喉科学 教授

日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科部長

日本耳鼻咽喉科学会、日本アレルギー学会、日本気管食道科学会 各専門医

日本アレルギー学会、日本鼻科学会、耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会、各代議員

### 講演2 . 舌下免疫療法は、花粉症・アレルギー性鼻炎に有効です!!

講師：NPO花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会 理事長 大久保公裕

#### 花粉症予防のポイント

日常生活ではアレルゲンを自分の周りから少なくする努力が必要です。花粉症の場合はもちろん外での行動が重要で、マスク、めがねで原因の花粉を少しでも体の中に入れないようにする努力が必要です。

我々の研究では花粉症用のマスクでは花粉が約1/6、花粉症用のメガネでは1/4程度に減少することが分かっています。これは狭い顔の周りの空間でスギ花粉を飛散させ、鼻や目に入ったスギ花粉を生理食塩水で洗浄し、入った花粉を通常のメガネ、花粉症用のメガネ、通常のガーゼマスク、花粉症用のマスクをした状態のものと全くメガネ、マスクをかけない状態の時と比較したものです。目や鼻に入るスギ花粉を完全に防御し、全く症状をなくすることは不可能ですが、ある程度症状を軽くすることができると思います。また部屋においてはハウスダストと同じように空気清浄機を使用する方法もありますが、ハウスダストより効果は落ちるのが現状です。しかし人の出入りが多いリビングなどに置いておくのは効果的です。寝室では空気清浄機より加湿器が良いと考えられています。

私たちの身体の方から考えての花粉症の症状をより悪化させないようにするのは結構大変です。これには鼻粘膜の状態を良くするように、悪化の因子である学校生活や学習でのストレス、睡眠不足などを抑えることが必要です。軽い運動などはアレルゲン

防御をしたうえで、推奨されると思われます。アレルゲンから回避し、自身の免疫を活性化して快適に過ごせるよう努力してみてください。また食事でも花粉症に対し、この効用を持つと考えられるものにある種の乳酸菌、ポリフェノール群(ケルセチンなどのフラボノイド、お茶のカテキンなど)プロポリス、カシス多糖類など多くのものがあります。しかしそれらは薬剤の効果の半分程度と考えて良いと思われています。

## 花粉症の治療

花粉症の治療は他の鼻や眼のアレルギーの治療と基本的には同じですが、急激に花粉にさらされたために起こる急性の強い症状への配慮も必要となります。治療法を大きく分けると症状を軽減する対症療法と根本的に治す根治療法の二つがあります。

**対症療法:**点眼、点鼻薬などによる局所療法、内服薬などによる全身療法、  
鼻の粘膜を凝固させるレーザーなどの手術療法

**根治療法:**原因抗原(花粉など)の除去と回避アレルゲン免疫療法(減感作療法)

**皮下免疫療法と舌下免疫療法:** 対症療法として第2世代抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬などの内服や点鼻、点眼、そして花噴霧用ステロイド薬の点鼻などが組み合わせられます。鼻の症状ではくしゃみ、鼻汁が強い症状の場合は抗ヒスタミン薬が多く使われます。鼻閉が症状の主体である場合には鼻噴霧用ステロイド薬がよい適応となります。眼の症状に対しては抗ヒスタミン薬の点眼液、化学伝達物質遊離抑制薬の点眼液がその主体となります。

現在、注目を集めている舌下免疫療法と呼ばれる注射ではない、アレルゲン免疫療法が2014年よりスギ花粉症に対して始められています。口、舌の下から抗原エキスを摂取し、アレルギー反応を抑制する免疫療法です。舌下免疫療法は、主に自宅で行われるため治療の意義等を十分に理解していないと治療の継続が難しく、十分に理解して始めることが非常に重要です。アレルゲン免疫療法は2年から5年ほどの期間の治療の終了後の治療効果の持続および対症療法薬の減量、個々の患者の新たなアレルゲンに対するアレルギー発症の抑制、小児アレルギー性鼻炎患者に対する喘息発症頻度の抑制等の臨床効果が期待されています。



大久保公裕 / NPO 花粉症・副鼻腔炎治療推進会 理事長  
1984年 日本医科大学 卒業、1988年 日本医科大学大学院修了  
1989年~1991年 アメリカ国立衛生研究所(NIH)留学

日本医科大学大学院 医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野教授  
日本耳鼻咽喉科学会 代議員  
日本鼻科学会 理事  
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 理事  
日本アレルギー学会 常任理事  
第63回日本アレルギー学会秋季学術大会(2013年、東京)会長

## NPO活動

### 1) NPO定期役員会・総会を開催

- 日時 平成29年 8月19日(土) 18時~18時30分
- 場所 場所:ステーションコンファレンス万世橋  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 JR神田万世橋ビル
- 内容 第4期(平成28年 7月1日~平成29年 6月30日) 決算報告 事業報告を了承しました。  
第5期(平成29年 7月1日~平成30年 6月30日) 活動予算 事業計画を承認しました。

### 2) 花粉と花粉症の科学の企画展に参加

- 日時 平成28年 12月23日(金・祝)~平成29年 3月20日(月・祝)
- 場所 国立科学博物館
- 主催 独立行政法人 国立科学博物館  
花粉問題対策事業者協議会  
展示参加
- 後援 文部科学省  
農林水産省  
経済産業省



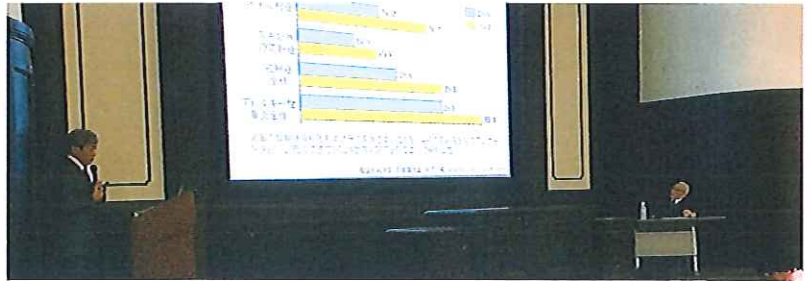
展示風景



展示責任者 松根彰志事務局長

### 3) 第4回花粉症市民講座を開催

- 日時 平成29年 2月11日(土・祝)
- 場所 国立科学博物館



講演:大久保公裕理事長(座長 アレルギー協会理事長 宮本昭正先生)

### 4) 第3回 みんなのアレルギーEXPO 2017に展示参加

- 日時 平成29年 10月10日(火)、11日(水)
- 主催 一般社団法人 日本環境保健機構
- 場所 京王プラザ ホテル



会場風景



### 5) 第6回 神奈川気道炎症病態研究会を支援

**日時** 平成29年 10月7日(土) 17時~19時15分

**主催** MSD(株)

**場所** 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ

日本耳鼻咽喉科学会専門医領域講習・1単位

**開会の辞** 研究会代表世話人 日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科 / 教授 松根 彰志(NPO事務局長)

**特別講演①** 「耳鼻咽喉科総合アレルギー科医からみた、慢性鼻副鼻腔炎の治療」

**座長** 座長 こすぎ耳鼻咽喉科クリニック / 院長 金井 憲一(研究会世話人)(NPO 理事)

**演者** 山梨大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 / 准教授 上條 篤 先生

**特別講演②** 「慢性気道炎症のメカニズム」

**座長** 東海大学医学部内科学系呼吸器内科学 / 教授 浅野 浩一郎先生(研究会世話人)

**演者** 国立成育医療研究センター研究所  
免疫アレルギー・感染研究部 アレルギー研究室 / 室長 森田 英明 先生

**閉会の辞** 東海大学医学部 専門診療学系 耳鼻咽喉科学 / 教授 大上 研二 先生(研究会世話人)

### 「花粉対策の日」、「アレルギー週間」、「鼻の日」のご紹介

#### ◆ 1月23日 「花粉対策の日」 JAPOC

当NPOが医療サイドからのアドバイザー参加をしております花粉問題対策事業者協議会(JAPOC: Japan Anti-pollinosis Council)が提唱し、一般社団法人「日本記念日協会」が認定した記念日です。その趣旨は、「花粉症にはワン・ツー・スリーの対策を!」ということで、以下の3項目がその内容です。詳しくは、URLをご覧ください。  
(<http://www.kafunbusiness.org/step>)

**ワン:** 花粉対策は、花粉飛散日にかぎらず早め早めの対策が必要です!

**ツー:** 花粉対策は、スギ花粉飛散が多くなる1月、2月、3月の時期に適切におこなしましょう!

**スリー:** 花粉対策は、いろいろな手段を総合的に組み合わせておこなしましょう!

#### ◆ 2月17日~2月23日 「アレルギー週間」 日本アレルギー協会

公益財団法人 日本アレルギー協会により1995年(平成7年)以来、毎年2月17日~2月23日を「アレルギー週間」とすることが定められた。石坂公成先生がIgE抗体を発見し、米国のアレルギー学会で発表された2月20日を「アレルギーの日」と制定し、その前後1週間(毎年2月17日~23日)を「アレルギー週間」として様々な活動を行っています。東京でのアレルギー週間中央講演会をはじめ、全国の支部で一般の方を対象に様々な催しを行っています。

#### ◆ 8月7日 「鼻の日」 日本耳鼻咽喉科学会

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会では、1961年(昭和36年)以来、毎年8月7日を「鼻の日」と制定して鼻疾患に対する啓発を行っています。制定当時は副鼻腔炎(蓄膿症)の患者さんが多く、社会生活や学業に大きな影響を与えていたので、この疾患の早期発見、早期治療を勧めることを目標にしていました。副鼻腔炎は、軽症化の傾向にありますが、依然、頻度としては多い疾患です。幸い薬剤の進歩や内視鏡手術の普及により治療率が向上しています。一方、スギ花粉症などのアレルギー性鼻炎は、近年さらに頻度が上昇しており、国民病とまでいわれるようになってきました。また、においの障害は生活の質(QOL)と関連して大きな問題ですが、まだまだ社会的認知が十分でない状況です。

# 大久保 公裕理事長 マスコミ出演情報

大久保理事長は、テレビ出演や新聞などのマスコミにもどんどん花粉症情報をお伝えしております。ひとりでも多くの方に正しい情報を知っていただけるように、今年も積極的にマスコミ出演に取り組んでまいります。今後の活動ご期待ください。



照英さんや中川翔子さんの花粉症トーク



あなたの?に答えます~花粉症・緑内障・泡レシビ~  
NHK「ためしてガッテン」に出演



2017年 2月7日 日刊ゲンダイ掲載



2017年 6月4日 読売新聞掲載



2017年 6月18日 朝日新聞掲載



# スギ花粉症 ひとくちメモ

スギの花粉で発症するスギ花粉症。日本で一番症例が多いのがスギ花粉症です。アレルギー性鼻炎などの合併症も考えられますので早めの受診をお勧めします。

## Check!

### 2018年 スギ花粉情報

すでに日本気象協会がネット上で公開している2018年の花粉情報2018年の東京、神奈川エリアは、少なかつた2017年よりスギ花粉の飛散量は多いようですが、平均と比べると少し多い程度です。2月の中旬以降からの花粉本格飛散に注意です。



前シーズン比  
2018年の花粉の飛ぶ量は?  
(スギ・ヒノキ 北海道シラカバ花粉)  
前シーズン2017年 2017年12月7日発表



tenki.jp

例年比  
2018年の花粉の飛ぶ量は?  
(スギ・ヒノキ 北海道シラカバ花粉)  
例年:2008年~2017年 2017年12月7日発表



tenki.jp

2018年スギ花粉前線  
2017年12月7日発表



tenki.jp

2017年 日本気象協会 HP抜粋

## Check!

### ダニによるアレルギー性鼻炎とスギ花粉症



ヤケヒョウヒダニ



コナヒョウヒダニ



スギ雄花



通年性アレルギー性鼻炎  
ダニに対するアレルギー

季節性アレルギー性鼻炎  
花粉症

合併している事がありますので要注意です!

---

---

## 謝 辞

今回も多くの企業様、団体様に「特定非営利活動法人(NPO)花粉症・鼻副鼻腔治療推進会」の活動をご理解、ご賛同いただいております。お陰様で「花粉症市民講座」の開催、従来からのホームページの運営、2017年からのホームページのスマートホン対応などなど、紙面でご報告させていただいている活動を行うことができています。ここに心よりお礼を申し上げます。感謝の意を込めまして、お名前を掲載させていただきます。(50音順)

今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NPO 理事長 大久保公裕

社会医療法人 翔和仁誠会

社会医療法人 正志会

社会医療法人 石心会

アステラス製薬

杏林製薬

グラクソスミスクライン

サノフィ

SIEMENSヘルスケア

大正富山医薬品

大鷗薬品工業

第一三共

田辺三菱製薬

東京鼻科学研究所

東京臨床薬理研究所

鳥居薬品

バイエル薬品

Meiji Seika ファルマ

モリタ製作所

平成29年12月末日現在

明日をもっとすこやかに

**meiji**

**Meiji Seika ファルマ株式会社**

作成：2016.10

**NPO 花粉症・鼻副鼻腔炎治療推進会  
パンフレット第5号**

編集責任者 松根彰志(事務局長)

U R L <http://hanamizu.jp/>

印 刷 2018年1月10日

印 刷 所 エヌ・ビー・エフ株式会社(東京都港区)

U R L <http://www.npfros.co.jp>